開一小だより

第３３９号
平成２６年１０月３１日発行
練馬区立開進第一小学校
校 長　　説　　寿 弘

「かいいちアートの森」

～子供の内面との出会い～

副校長　　森田　博之

11 月 14・15 日、作品展『かいいちアートの森』を開催します。アートの森の楽しみ方は様々あると思いますが、私は次の二つを楽しみにしています。

一つ目は、全体のワクワクするような雰囲気です。子供の作品を一堂に集めると、体育館が新しい一つの世界となります。華やぐように感じたり、静かなほほ笑みがたくさん集まったように感じたりします。皆さんはどのように感じられるのでしょうか。

二つ目は、個々の作品を通した子供の内面の発見です。

大人の芸術作品は人に伝えたいという想い（メッセージ性）が含まれたものが多いですが、子供の作品は伝えるためのものではなく、自分のための活動の結果です。誰かのために作ったのではなく、自分が作りたいから作ったものです。また、学年なりの表現技能なので、大人の作品と同じように見てしまうと、「独りよがりで、上手くない作品」と、思ってしまいます。

けれど、アートの森の作品は、子供に合わせたテーマとねらいを教師が設定し、子供がそれを自分で解釈し、自分が作りたいように作った作品です。ですから、作品の中に「その子なりの自分」が含まれているのです。ただ、子供の作品ですから大人から見ると（何だ、これ？）と感じることがあります。また、大人なりに解釈しても子供の思いと違っていることがあります。そこで、「これ、な～に？」「何でこうしたの？」と、お子さんと作品を通して会話をしてください。そうすると子どもの思いがわかり、（なるほど！）と頷けます。こうして作品に込められた子供の思いや感じ方がわかると、子供への理解が深まったり新しい発見をしたり、また、成長が感じられたりします。

図工専科の高橋史樹教諭は、「作品からはその子の様々な内面（優しさ、夢、好きなこと、自分をどのように捉えているか等）が見えてきます。作品を通してその子の内面を認めてください。『かいいちアートの森』が、そのきっかけになると嬉しいです。」と、話しています。「褒める」は、良い点を褒めるのであり、「認める」は良い悪いに関係なく理解するということです。認めた上で子供を成長させていくのが、大人の務めです。

絵や工作で表現する子供とそれを受け止める大人。アートの森は、そんな子供と大人の出会いの森です。

１１月の生活目標

《しっかり学習をしよう》

生活指導主任　澁谷　歩

学習することの第一歩は、「話を聴く」ことから始まります。「聴く」の漢字は、「耳＋目＋心」と書きます。まさに、相手の顔やその対象物をしっかりと見て、耳を傾け、心で考えながら聴くことができたら、もうその学習は達成されたといってもよいのかもしれません。

子供がしっかり学習できる話の聴き方を身に付けるために、ご家庭でもぜひ子供の話をしっかり聴いていただきたいと思います。

１１月の行事予定

３日（月）	文化の日
４日（火）	安全指導　セーフティ教室 1 校時（4.5,6 年）3 校時（講演会） 2 校時（1,2,3 年）
５日（水）	特別時程　就学時健診 １～４．６年　午前授業
６日（木）	社会科見学（6 年）
７日（金）	生活科見学（1,2 年）
８日（土）	土曜授業日　火曜時間割 体育朝会（低学年）
１０日（月）	全校朝会 クリーン運動（2.4.6 年） 委員会（6 校時）
１１日（火）	生活科見学予備日（1,2 年）
１２日（水）	たてわり班　計画委員（6 校時）
１３日（木）	5 時間授業　避難訓練　前日準備
１４日（金）	食育クイズ かいいちアートの森始
１５日（土）	月曜時間割　午前授業　給食なし かいいちアートの森終
１７日（月）	振替休業日
１８日（火）	校区別協議会　午前授業
１９日（水）	歯科検診（全学年）
２０日（木）	社会科見学（5 年）
２１日（金）	午前授業（南町小学校研究発表のため）
２３日（日）	勤労感謝の日
２４日（月）	振替休日
２５日（火）	社会科見学（4 年）
２６日（水）	低学年（音楽朝会） 高学年（体育朝会）
２７日（木）	午前授業　月曜時間割 （仲町小　研究発表会のため）
２８日（金）	5 時間授業　就学時健診予備日

1・2年生合同　生活科見学（11月7日）　　1年担任　伊藤　晋介

涼しい日も増え、秋らしくなってきました。校庭に植えられた樹木も色づき始め、季節の変化を感じます。

１１月は子供たちが楽しみにしている生活科見学があります。１年生と２年生が一緒になって光が丘公園まで出かけます。１年生と２年生は事前に顔合わせで自己紹介をします。当日は、１年生と２年生が一緒に協力して、オリエンテーリングをする予定です。子供たちが、異なる学年の班で活動することで、学年間の交流を深めることはもちろん、集団の中で協力する心と自然に親しむ心を伸ばしていくことをねらいにしています。担任一同、安全に気をつけて楽しい思い出が作れるようにしていきます。

作品展「かいいちアートの森」（11月14・15日）　　図工　高橋　史樹

ある詩集の表紙に「やわらかなまっすぐ」という言葉がありました。私はその言葉を見てすぐに図工の時間に頑張っている子供たちの様子を思い浮かべました。一つのことに夢中になれるのは子供たちの素敵な魅力ですが、夢中になりすぎて他のことを忘れてしまったり、思い通りの表現ができずに嫌になってしまったりすることもあります。作品だけではなく、楽しみながら悩みながらときに大人顔負けの真剣な表情で表現に取り組む様子も、会場でお伝えできればと思います。きれいにまっすぐとはいきませんが、迷ったり悩んだりしながらも自分の気持ちを大切にして「やわらかなまっすぐ」に表現した作品を、「やわらかなまっすぐ」な目で楽しんでいただければと思います。

また、２日目は６年生の児童が会場にて作品の説明を行います。それぞれが話す内容を考え、本番に向けて練習しています。ぜひ、お声かけください。

応援団祭り（10月18日）　＆　地区祭（10月26日）　　副校長　森田　博之

「開一小の学区域に住む子供たちは幸せだなあ。」と、思います。子供も大人も一緒に楽しめる催しが続いて開催されているからです。

応援団祭りは、学校開放（図書館開放、体育館・校庭開放、いちょう広場等）を取りまとめる、開一小学校応援団が主催しました。プラ版作りやグランドゴルフなど、子供たちは様々なコーナーを楽しむことができました。地区祭は練馬区第二地区（主に開一小・早宮小・仲町小の学区域）の町会自治会連合会が母体となった催しです。商店会の屋台や相撲・縄跳びの催し、トン汁とつき立てのお餅の配布もあり、4300 余名もの方が参加しました。

これらの地域行事を通して地域の人と顔見知りになることは、目に見えない防犯効果があります。また、地域を身近に感じる子供は様々な人と関わりながら、地域や社会に自然と目を向けられる視野の広い人間に成長してくれることでしょう。

＜地区祭＞

＜応援団祭り　（プラバン作り）＞

○3 年生の算数・理科 TT 指導として、都時間講師　山之内ひとみ教諭が、12 月 4 日まで担任と共に指導することとなりました。

○４月に配布した年間行事予定には、「12 月５日　研究発表会・学校公開」と記載いたしましたが、今年度は他校の教員に向けて発表いたしますので、保護者の方の参観はできないことをご了承ください。